所長ニ対シ其意見ヲ叩クコトヽナリタリ十二月十七日
所長ハ二個ノ意見ヲ示シ各意見ヲ以テ答ヘラレテ軍
備縮少ニ伴フ当造船所ノ将来ハ甚タ憂慮スヘキ
然ハアルモ之カ為メ職工ヲ解雇スルカ如キコトハ全然無
之旨訓示セラル由ナリ
該意見ハ会社ノ言フカ如ク直ニ解雇セントスルカ如キコトハ
ナシトスルモ営業縮少後ハ銀行ノ下ケ渡シニ至ラハ之カ為人
余儀ナク職工ノ自発ヨリ退職セザルヘカラザル人員ニ
立チ到ルヤモ難計 随テ本所ハ結局営利
研究ヲ要スルコト固ヨリ別ニ意見等ノ異議モ
一面会社側ニ於テハ当造船所ヲ事業ノ大体方針
ニ関シテハ一ニ東京本社ニ於テ決セラルヽ所ニ
シテ当所ハ一ノ容喙ヲ許サズ随テ本社ヨリ命令
ニ接セザル限リ何等知ルコトヲ得ズ軍縮問題ニ就テ
ハ未タ何等ノ指揮命令ニ接セザルハ勿論十二月十八日軍
艦土佐進水ノ為来所シタル本社幹部ニ於テモ
未タ何等ノ腹案ヲ有セザルモノヽ如シ 随テ当所ニ於
テハ現ニ軍艦高尾ノ起工式ヲ挙行シタリ
然レトモ軍縮実現ニ軍艦建造中止ノ時期到着スル
ヘシト察スルモ経済ノ不況ニ伴ヒ将来起ルヘキハ必要ナルニ
ニ伴フ商船ノ増加ヲ見ルニ至ルヘク斯ク造船界
ノ維持亦困難ニ陥ラサルヘシ 随テ三菱造船所ノ如キ
職工ヲ解雇スルカ如キコトハ無之ルヘシト称シ居
レリ